

コンフィギュレーション ファイルのバックアップと復元

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[コンフィギュレーションのバックアップの作成](#)

[TFTP サーバを使用したコンフィギュレーションのバックアップと復元](#)

[FTP サーバを使用したコンフィギュレーションのバックアップと復元](#)

[ターミナル エミュレーション プログラムを使用した構成のバックアップと復元](#)

[Kron 方式を使用したコンフィギュレーションの自動バックアップ](#)

[TFTP サーバへのコンフィギュレーションのバックアップ](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

多くの理由により、ルータは頻繁にアップグレードまたは交換されます。このドキュメントでは、既存のルータから新しいルータへコンフィギュレーションを移行するための基本的な手順について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントの情報を使用する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

Trivial File Transfer Protocol (TFTP; トリビアル ファイル転送プロトコル) サーバまたは File Transfer Protocol (FTP; ファイル転送プロトコル) サーバへのアクセス権。

接続 : ルータは FTP または TFTP サーバにアクセスできる必要があります。接続を確認するには、ping コマンドを使用します。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく

必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[コンフィギュレーションのバックアップの作成](#)

コンフィギュレーションをバックアップおよび復元するには、いくつかの方法があります。

[TFTP サーバの使用](#)

[FTP サーバを使用](#)

[ターミナル エミュレーション プログラムの使用](#)

[Kron 方式を使用したコンフィギュレーションの自動バックアップ](#)

[TFTP サーバへのコンフィギュレーションのバックアップ](#)

[TFTP サーバを使用したコンフィギュレーションのバックアップと復元](#)

ルータから TFTP サーバにコンフィギュレーションをコピーし、さらに別のルータに復元するには、次の手順を段階的に実行します。この方法を進める前に、ネットワーク上に TFTP サーバが存在しており、そのサーバへの IP 接続が可能であることを確認します。

Router> プロンプトで **enable** コマンドを発行し、プロンプトが表示されたら必要なパスワードを入力します。

プロンプトが Router# に変化し、ルータが現在は特権モードであることを示します。

次の手順で、実行コンフィギュレーション ファイルを TFTP サーバにコピーします。

```
CE_2#copy running-config tftp:Address or name of remote host []? 64.104.207.171Destination filename [ce_2-config]? backup_cfg_for_my_router!!1030 bytes copied in 2.489 secs (395 bytes/sec)CE_2#
```

テキスト エディタを使用してコンフィギュレーション ファイルを開きます。「AAA」で始まる行をすべて検索し、削除します。

注: この手順は、ユーザをルータから締め出す可能性のあるすべてのセキュリティ コマンドを削除します。

コンフィギュレーション ファイルを、TFTP サーバから、特権 (enable) モードの新しいルータ (基本のコンフィギュレーションが設定されている) にコピーします。

```
Router#copy tftp: running-configAddress or name of remote host []? 64.104.207.171Source
filename []? backup_cfg_for_my_routerDestination filename [running-config]?Accessing
tftp://10.66.64.10/backup_cfg_for_my_router...Loading backup_cfg_for_router from
64.104.207.171 (via FastEthernet0/0): ![OK - 1030 bytes]1030 bytes copied in 9.612 secs
(107 bytes/sec)CE_2#
```

FTP サーバを使用したコンフィギュレーションのバックアップと復元

この手順では、TFTP サーバの代わりに FTP サーバを使用できます。

Router> プロンプトで **enable** コマンドを発行し、プロンプトが表示されたら必要なパスワードを入力します。

プロンプトが Router# に変化し、ルータが現在は特権モードであることを示します。

FTP のユーザ名とパスワードを設定します。

```
CE_2#config terminalCE_2(config)#ip ftp username ciscoCE_2(config)#ip ftp password cisco123
CE_2(config)#endCE_2#
```

コンフィギュレーションを FTP サーバにコピーします。

```
CE_2#copy running-config ftp:Address or name of remote host []? 10.66.64.10Destination
filename [ce_2-config]? backup_cfg_for_routerWriting backup_cfg_for_router !1030 bytes
copied in 3.341 secs (308 bytes/sec)CE_2#
```

テキスト エディタを使用してコンフィギュレーション ファイルを開きます。「AAA」で始まる行をすべて検索し、削除します。

注: この手順は、ユーザをルータから締め出す可能性のあるすべてのセキュリティ コマンドを削除します。

コンフィギュレーション ファイルを、FTP サーバから、特権 (enable) モードの新しいルータ (基本のコンフィギュレーションが設定されている) にコピーします。

```
Router#copy ftp: running-configAddress or name of remote host [10.66.64.10]? Source
filename [backup_cfg_for_router]? Destination filename [running-config]? Accessing
ftp://10.66.64.10/backup_cfg_for_router...Loading backup_cfg_for_router ![OK - 1030/4096
bytes]1030 bytes copied in 13.213 secs (78 bytes/sec)CE_2#
```

ターミナル エミュレーション プログラムを使用した構成のバックアップと復元

ターミナル エミュレータ プログラムを使用して、コンフィギュレーションのバックアップと復元を実行できます。Microsoft Hyperterminal Terminal Emulation ソフトウェアを使用した手順を次に示します。

別のルータからコンフィギュレーションをコピーする必要がある場合には、コンソールまたは Telnet を介してそのルータに接続します。

Router> プロンプトで **enable** コマンドを発行し、プロンプトが表示されたら必要なパスワードを入力します。

プロンプトが Router# に変化し、ルータが現在は特権モードであることを示します。

terminal length 0 コマンドを発行して、一度に 1 画面分ではなく、応答全体を返すようルータに指定します。

これは無関係なしで設定をキャプチャすることを可能にします `--more--` ルータが 1 画面一度に対応する時生成されるプロンプト。

[HyperTerminal] メニューで、[Transfer] > [Capture Text] を選択します。

[Capture Text] ウィンドウが表示されます。

このファイルを「config.txt」で保存します。

[Start] をクリックして、[Capture Text] ウィンドウを消去し、キャプチャを開始します。

show running-config コマンドを発行し、ルータが応答を完了するまで待機します。コンフィギュレーションに続いて、

```
Building configuration...  
設定によって続かれる。
```

HyperTerminal メニューで、[Transfer] > [Capture Text] > [Stop] を選択し、スクリーンキャプチャを終了します。

Notepad や Wordpad などのテキスト エディタで、作成した config.txt ファイルを開きます。

「AAA」で始まる行をすべて検索し、削除します。

注: この手順は、ユーザをルータから締め出す可能性のあるすべてのセキュリティ コマンドを削除します。

ファイルを保存します。

そのコンフィギュレーションが必要なルータに接続します。

config.txt ファイルを開きます。

config.txt ファイルの内容全体を選択して強調表示します。

これを行うには、マウスの左ボタンを押したまま、ファイルの最初の文字の前から最後の文字の後まで、カーソルをドラッグします。また、Notepad を使用している場合は、メニ

ユーから [Edit] > [Select All] を選択する方法もあります。

選択したテキストを Windows のクリップボードにコピーします。

コピー操作を行うには、テキスト エディタのメニューから [Edit] > [Copy] を選択するか、Ctrl キーを押したまま同時に C キーを押します。

HyperTerminal ウィンドウに切り替え、Router# プロンプトで **configure terminal** コマンドを発行します。続いて、Enter キーを押します。

HyperTerminal メニューで [Edit] > [Paste to Host] を選択して、コンフィギュレーション ファイルをルータに貼り付けます。

コンフィギュレーションの貼り付けを完了し、ルータがコンフィギュレーション プロンプトに戻った後で、**copy running-config startup-config** コマンドを発行して、コンフィギュレーションをメモリに書き込みます。

exit コマンドを発行して、Router# プロンプトに戻ります。

Kron 方式を使用したコンフィギュレーションの自動バックアップ

たとえば、毎週土曜日の 23:00 の時点で running-config を startup-config にコピーするようにルータを設定するには、次の手順を実行します。

kron ポリシー リストを作成して下さい。これはどんなコマンドをルータがスケジュールされた時間に実行する必要があるかリストするスクリプトです。

```
Router(config)#kron policy-list SaveConfig Router(config-kron-policy)#cli write  
Router(config-kron-policy)#exit
```

cli か。コマンドスケジューラ ポリシー リスト内の EXEC CLI コマンドを規定します。

ポリシー リストか。コマンドスケジューラ 発生と関連付けられるポリシー リストを規定します。

注: ここで **copy running-config startup-config** ではなく **write** を使用する理由は、kron ではインタラクティブなプロンプトがサポートされていないにもかかわらず、**copy running-config startup-config** コマンドではインタラクティブな操作が求められるためです。コマンドを作成する際には、そのことに留意しておくことが重要です。また、kron ではコンフィギュレーション コマンドがサポートされていないことにも注意してください。

kron occurrence を作成して下さい。これは頻繁にポリシーがいつ、どのように動作する必要があるルータを知らせます。

```
Router(config)#kron occurrence SaveConfigSchedule at 23:00 Sun recurring Router(config-kron-occurrence)#policy-list SaveConfig
```

SaveConfigSchedule か。これは発生の名前です。オカレンス名の長さは 1 ~ 31 文字です。オカレンス名が新しいものであれば、オカレンス構造が作成されます。新しい名前でない場合には、既存のオカレンスが編集されます。

か。発生が規定された日付および時に動作することであることを識別します。

繰り返しか。発生が繰り返し基礎で動作することであることを識別します。

show コマンドを使用して、**kron** の設定を確認します。

```
Router#sh kron schedule Kron Occurrence Schedule SaveConfigSchedule inactive, will run again in 1 days 12:37:47 at 23:00 on Sun
```

非アクティブか。**kron** がコマンドを現在実行していないことを意味します。

アクティブか。**kron** が現在のコマンドを実行していることを意味します。

```
Router#show running-configuration kron occurrence SaveConfigSchedule at 23:00 Sun recurring policy-list SaveConfig kron policy-list SaveConfig cli write
```

[TFTP サーバへのコンフィギュレーションのバックアップ](#)

この例では、**running-config** は、毎週日曜日の 23:00 に TFTP サーバ (10.1.1.1) に保存されます。

```
Router(config)#kron policy-list Backup Router(config-kron-policy)#cli show run | redirect tftp://10.1.1.1/test.cfg Router(config-kron-policy)#exit ! Router(config)#kron occurrence Backup at 23:00 Sun recurring Router(config-kron-occurrence)#policy-list Backup
```

[確認](#)

show running-config コマンドを使用して、コピー先のルータにコンフィギュレーション ファイルがコピーされていることを確認します。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - シスコシステムズ](#)